

兵庫県武術太極拳特別競技大会

常笑輝龍写新聞 第003号

2022.9.2

常笑輝龍のメンバーは全8種目中、4種目(4名)で1位を獲得！！

丸山響生くん(中2)
男子 長拳 第1位

小原 季慶くん(小4)
男子 初級長拳 第1位

直塚 大樹くん(高2)
男子ジュニア太極拳 第1位

西川 花江さん(小5) 写真中央
女子 初級長拳 第1位



↑
庄谷 木歌くん(小2)
男子 ドラゴン長拳 第3位

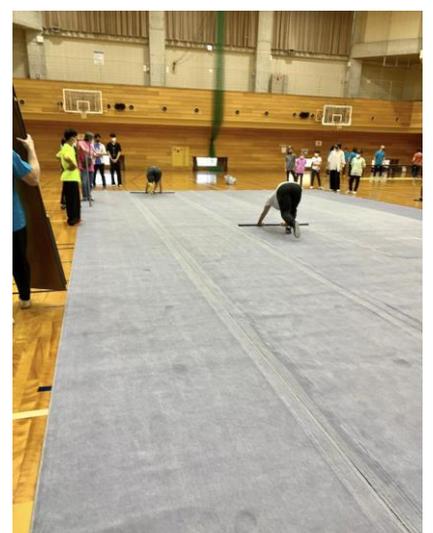
← 小松 滯さん(中2)
女子 長拳 第2位

→
松田みちるさん(小5)
女子 初級長拳 第2位
写真左

→
仲埜 伊千花さん(小5)
女子 初級長拳 第3位
写真右

2年以上無かった競技大会。子ども達の練習意欲向上を目的に兵庫県連盟主催で8月7日(日)常盤アリーナにて競技大会が開催されました。常笑輝龍からは36名の選手が出場し、日頃の練習成果をしっかりと発揮した演武を披露していました。

この日は常盤アリーナが開館する8時45分に集合し、会場設営からスタートしました。



今回の競技大会では常笑輝龍が普段使用している絨毯を使用するということで1本40kgの絨毯を6本搬入し、手慣れた手つきで淡々と皆で協力してコート整備をしました。後輩達が気持ち良く全力が出せるようにと、出場しない先輩達も早朝から集合して、設営から同じ時間を過ごしてくれました。



会場準備が完了したら
ぞくぞくと受付に出場者達が
やってきました。不安ありながらも
いよいよだなあと、試合への気持ち
が高まってきました。



受付を終えたらコートで練習。
立ち位置や足場の確認をしています。



尾高コーチと品川コーチは審判員
としてこの試合をサポートしました。

心の中では常笑輝龍メンバー1人
1人が練習通りに演武ができる事を
願いながら、、公平・公正・厳正に
審査を行いました。



演武に対して大きく分けて2種類の審査が行われます。
A組；動作の形が正しいか。規格から外れる毎に減点。
B組；動作の質（スピードや力強さ等）の高さ。
程度により配点されます。



試合が終わればそれぞれ記念写真撮影
どの顔も笑顔が眩しい♪

“祭”の後は撤収作業。最後の最期まで専門生達は頑張ってくれました。



今日1日での気付きを振り返り、皆でシェア。
課題も出し合って、次へ向かう大切な時間。

